

第11回 (9/17号)

水稻病虫害発生予察の結果について

① 生育状況

生育状況は概ね平年並みの生育で、順調に進んでいます。どの地区も籾の中身が固まり固くなる固熟期に入っていました。長岡の小坂・天野地区、大仁地区の神島は籾が色付き始める黄熟期に入っている圃場も見られました。

② 病虫害状況

どの圃場でもウンカ類やヨコバイ類の害虫を含む病虫害の発生はほとんど確認出来ず、秋ウンカの発生もありませんでした。

また、長岡地区の小坂、天野、大仁地区の白山堂では稲こうじ病の発生が確認されました。発生は多発生という発生量ではありませんでしたが、土壌中の菌密度の増加により、次年度の発生リスクが高くなります。防除時期としては出穂前となりますが、発生の多い方は、来年度以降、防除をご検討ください。



←稲こうじ病の感染籾

殺虫剤

○トレボン粉剤DL 3~4kg/10a 1,330円/1袋 (3kg)

時 期：収穫7日前まで

備 考：ウンカ類、ヨコバイ類、イナゴ類、カメムシ類

秋ウンカに対して散布する場合は、株元に掛かるように行う。

問い合わせ：韮山営農経済センター 勝又 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。